

Dr.イグルハウトインプラント学術講演会

侵襲を最小にするインプラント外科 - 審美領域での最新コンセプト - (Dr. イグルハウト)

インプラント治療における軟組織及び硬組織のマネージメントは以前にも増して侵襲を最小限に留める外科手法に向かっている。審美領域におけるインプラント治療のゴールは自然な外観と硬軟組織の構造を保存することにある。重要な要件は表皮切開を避けることと遊離複合軟組織グラフトを治療に採用することである。この方法により即時埋入後の非外傷的な創傷閉塞を行なえると同時に歯周バイオタイプをシックタイプにすることが出来る。

残存する周囲硬軟組織の解剖学的形態に基づく正確な診断はより適した治療方法の選択と予見性のある結果を達成するための前提要件である。治療のタイミングは重篤な骨欠損を避ける重要な要素と考えられる。リッジプリザベーション法は重篤な骨欠損に対処する革新的な低侵襲アプローチであり、口腔外科医と患者双方に要求度の高いテクニックセンシティブな処置である。

臨床研究によればバイオロジカルウィズは天然歯と同様にインプラント周囲にも確立される。アバットメント装着後4週間から8週間の間にインプラントネック部周囲歯槽骨はリモデリングし垂直的且つ水平的な骨吸収が起る。軟組織と硬組織の保存に決定的な影響を与える要素、つまり組織の萎縮を最小限に抑え審美的な結果を達成することはインプラントとアバットメントの3次元的に正確なポジショニングすることに拠る。プラットフォームスイッチングのコンセプトはこのような考えを支持するように思われる。

演者は25年にわたる臨床医としての経験に基づき新しい考えに満ちたテクニックを紹介する。



講師:

Dr. Gerhard Iglhaut

<略歴>

ギーセン大学(ドイツ)卒業
ドイツメミンゲン市開業
ドイツ口腔インプラント学会次期会長
グッティンゲン大学講師
シュタインバイス大学ベルリン講師
口腔外科専門医
歯周病専門医
歯科口腔インプラント専門医
世界各国で口腔インプラント、歯周疾患治療、歯周形成外科、歯周マイクロサージェリーについての多数の講演を行なっている

<講演内容>

1. フラップレパレーションの非外傷的処置
2. 低侵襲外科治療に使用される特別なインスツルメント
3. 複合軟組織グラフトの採取法
4. 即時埋入後のフラップレス創傷閉塞
5. 低侵襲水平的及び垂直的骨オーグメンテーションテクニック

日時

10月3日 (日)
10:00 - 13:00 (逐次通訳付き)

会場

熊本県歯科医師会館
熊本県熊本市坪井2丁目4番15号

参加費

無料

主催 九州インプラント研究会

後援 カムログアカデミー
ALCADENT 株式会社 アルタデント

下記申し込み欄に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込み下さい。

お問い合わせ

九州インプラント研究会
860-0805熊本市桜町1-28-205 TEL096-352-5976

アルファベ小表記 お名前				ふりがな 医院名			
医院ご住所	〒	都道府県	市町区				
TEL	— — —			FAX	— — —		

ご記入いただいたお申込み情報は個人情報保護法に準じ厳密に取り扱いたします。

9月26日までにお申込みください。 送信先:FAX **06-6377-2223** (株式会社アルタデント)